

～ 第5回 「メロン王子」 ～

更新がおろそかになっておりますが、遊んでいるわけではありませんよ…ふふ。

さて、17大会準備状況の第18回、夕張メロン編で詳述していたとおり、我々、17大会の夕張メロンなどの協賛（無償提供）を逡巡する「くだもの社長」に対し、大阪マラソンの会場で初対面の氏に協賛の継続を促す奇跡の一言「くだもの社長さんですか？」を発した関西在住の方（以下単に「メロン王子」という。）を探しておりました。

「メロン王子」は、察するに「準備状況」などをくまなくご覧になっているのは明白であり、必ずや我々の問いかけに反応があるものと確信しておりました。そして「その日」はあっさりとやってきました。1月から始めた当マラソンのフェイスブック、そこに投稿したメロン関連記事に、1月15日（日）の早朝、次のコメントが付いたのです。

＞第18回記事 楽しく拝読しました。大阪マラソンでフルーツ社長さんに声をおかけしたのは僕です。前回大会ではタイムを狙っていましたが、フードは全く摂らずに走りました。今年の大会は完食を目指します。

…押せるものなら「いいね」を100回押しそうな勢いで喜んだ私、すぐさまコメントを返そうと思いましたが…場の運営ポリシーを「※FB コメントやメッセージには返信をいたしませんのでご了承ください」と熟慮のうえ定めた以上、軽々に返信はできません。そこで苦肉の策として「メロン王子」にメッセージでお礼を申し上げます…

＞返信ありがとうございます。前回大会前に大会HPのブログをととても楽しく読ませていただきました。いかにおもてなしをするか、いかに費用をかけずに函館を満喫してもらうかを巧みな文章でまとめられており、大会には参加しない家内にプリントアウトして読ませました。ブログの中で取り分け印象に残ったのは豪気にも高価な夕張メロンを提供されたフルーツ社長の逸話とイラストでした。

＞函館マラソンから4ヶ月後の大阪マラソンの朝のこと。荷物を預け終わってスタートラインに向かって歩いている時、前からイラストそのままのランナーさんが歩いて来られた時には思わずビックリして足が止まりました。もちろん迷うことなく声をかけて、おはなしをさせていただきました。まさかこの時の僕の行動が次回の大会へのフルーツ提供を決定付けたとは驚きです。

＞函館マラソンのコースは正直アップダウンが多くて、キツイコースでしたが沿道からの熱い声援とおもてなしの溢れた大会でした。もちろん今年も参加します。大会準備何かと大変ですが楽しみにしております。大成功を祈っております。

という返信を「メロン王子」からすぐさま頂戴し（あわせてメッセージの引用についてもご許可をいただきました）、飛び上がりましたね物理的に。

ただ「メロン王子」、いや川端さん！このようなやりとりを通じて私、何かしらずっと違和感を覚えておりました。何かが違う…何だろう。

あ、「フルーツ社長」じゃなくて「くだもの社長」ですから！（←ココ重要）